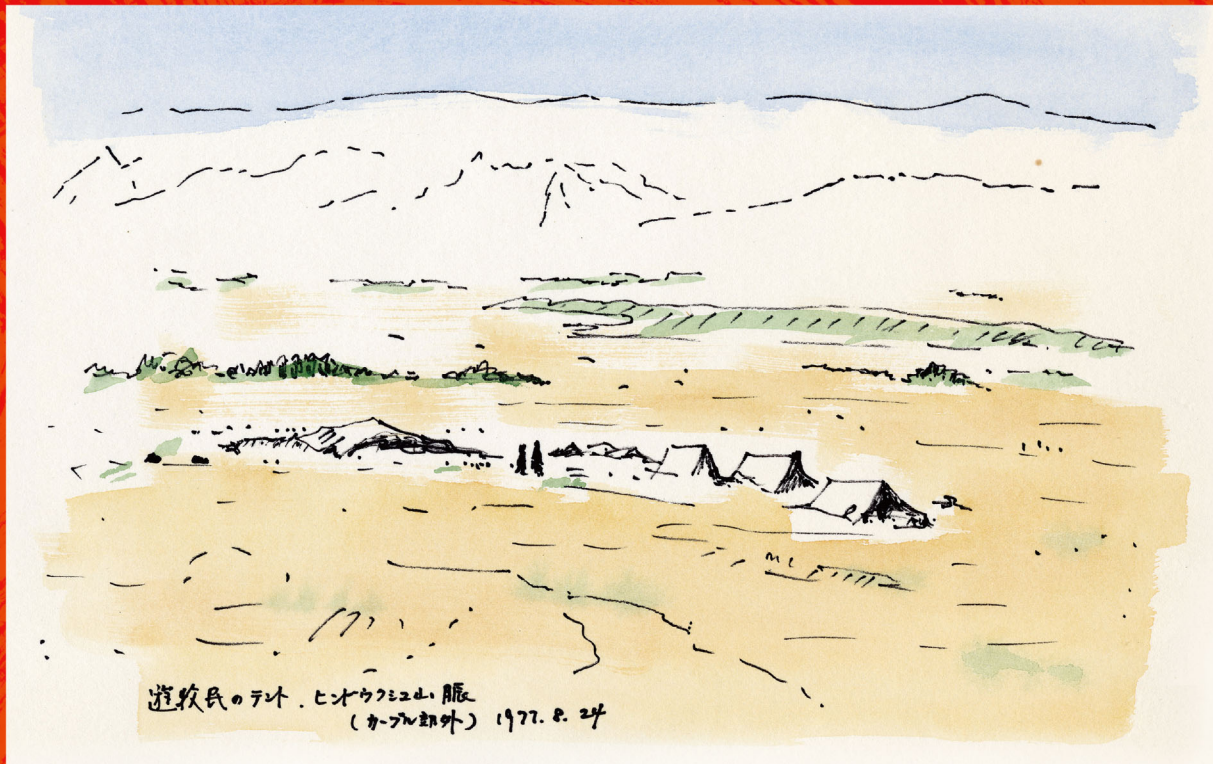


清原 雅彦 追悼

北九州交響楽団 レクイエム演奏会

協力 響ホール室内合奏団



清原雅彦 シルクロードでのスケッチ

第Ⅰ部 指揮 大庭 三紀

R.ワーグナー 楽劇「ニュルンベルクのマイスタージンガー」第1幕への前奏曲

A.ボロディン 中央アジアの草原にて

第Ⅱ部 指揮 竹内 健人

W.A.モーツァルト レクイエム ニ短調 KV626

ソプラノ 白川 深雪 アルト 渡辺 玲美 テノール 藤田 卓也 バス 原 尚志

合唱 北九州レクイエム混声合唱団 合唱指導 中山 敦

2025 **3.2** 日 14:20 開場 15:00 開演 **北九州芸術劇場**
大ホール リバーウォーク北九州6F

一般2500円[当日3000円] 学生1000円[当日1500円] 小学生以上

◎小さなお子様のご鑑賞は他のお客様のご迷惑にならないようにお願いいたします 親子室も用意していますのでご利用ください

●チケットは市内各プレイガイドで発売

ローソンチケット[Lコード 81936] 北九州芸術劇場 北九州ソレイユホール ウェルとばた 小倉井筒屋 松田楽器 d³ Gallery

主催■北九州交響楽団 レクイエム in 北九州実行委員会 共催■TNCテレビ西日本

協力■認定NPO法人 響ホール室内合奏団

後援■北九州市 (公財)北九州市芸術文化振興財団 北九州音楽協会 北九州交響楽団後援会 北九州モーツァルトの会

■ 展覧会同時開催

清原雅彦シルクロードへの想い

* 度重ねたシルクロード旅行での
スケッチ、写真ほか

3.2日▶9日 d³ Gallery 11:00▶20:00 入場無料

初日は12:00-21:00 最終日は16:00まで



小倉北区馬場 1-3-23

お問合せ■北九州交響楽団事務局 TEL.093-533-1313 ディーキューブギャラリー内



清原 雅彦 1938-2024

北九州交響楽団の清原雅彦名誉団長は、1979年北九響入団。チェロ奏者として演奏の傍ら、団長等の役職を歴任後、2010年より名誉団長として永きにわたり当団の発展に尽力してきました。本職の弁護士としては日弁連理事や九州弁護士連合会理事長を、公職では北九州市人事委員長や福岡県教育委員会委員長、北九州市文化顧問を務めました。また、響ホール室内合奏団では理事長などを歴任。そのほか、北九州グランフィルハーモニー管弦楽団の創設、北九州国際音楽祭実行委員会理事や北九州国際音楽祭市民企画委員会委員長を務めるなど、北九州市の音楽文化の発展にも力を注いできました。その中で、北九州モーツァルトの会会長を務めていた2015年より、その年に亡くなられた多くの方々への鎮魂の祈りを込め、モーツァルトの命日である12月5日に合わせて、その遺作である「レクイエム」を演奏してきたレクイエム in 北九州(2015~2019年、2022年)を企画してきました。本公演は、氏への追悼の意を込めて北九州交響楽団とレクイエム in 北九州が主催、響ホール室内合奏団の協力で開催します。

1978年北九響にトロンボーン奏者として入団。1989年よりトレーナーとして北九響の練習指揮担当。1992年遠賀町文化祭にて北九響を指揮。2001~2004年霧ヶ丘モーツァルトホールにて「清原雅彦とその仲間たち」公演で、モーツァルトの交響曲、協奏曲等を指揮。2019年「井堀の森の小さな音楽会」で北九響のプロコフィエフ「ピーターと狼」等を指揮。これまでに九州工業大学吹奏楽部、千葉大学管弦楽団、西千葉トロンボーンクラブ、北九州トロンボーンアンサンブル、Blue Brass Quintet等で活動。北九響事務局長、d³ Art Studio代表。本業は美術家、書家、グラフィックデザイナー。



指揮
大庭 三紀



ソプラノ
白川 深雪

京都市立芸術大学・同大学院修了。第11回飯塚新人音楽コンクール第1位等受賞多数。約12年間ドイツに滞在。ドイツ、オーストリア、イタリアにて研鑽を積む。数多くのオラトリオのソリストを務める他、オペラでは「アイダ」「椿姫」等にてタイトルロールを演じる。ボリチア・マグレコ歌劇場、プリンディジ歌劇場にて「蝶々夫人」蝶々夫人役でイタリアデビュー。2019年トリエステ・ヴェルディ歌劇場にて「カルメン」ミカエラ役で契約。CD「詩人の夢」「ふうわりキラリ」をリリース。平成音楽大学講師。二期会会員。北九州音楽協会理事。イメージネーションオペラ副代表及びアーティストプロデューサー。

北九州市出身。4歳からピアノ、10歳からサクソフォーンを始める。洗足学園音楽大学音楽学部サクソフォーン専攻を卒業後、東京藝術大学音楽学部指揮科を卒業。北九州グランフィルハーモニー管弦楽団、響ホール室内合奏団、北九州交響楽団、北九州ジュニアオーケストラなど、福岡のプロ、アマチュア団体の客演も多く好評を博している。JR東日本交響楽団、慶應義塾大学ウィンドアンサンブルOB吹奏楽団、AZUMA吹奏楽団、グリーンハート吹奏楽団、新三友合唱団、東京サクソフォーンオーケストラ、福岡サクソフォーンオーケストラ、洗足ゲーム音楽プラスで指揮者を務めている。



指揮
竹内 健人



アルト
渡辺 玲美

活水女子大学音楽学部声楽学科卒業。1998~2007年、びわ湖ホール専属歌手として、びわ湖ホール声楽アンサンブルに在籍。青少年オペラブリテン「小さな煙突掃除屋さん」のタイトルロールでオペラデビュー、フンパーディンク「ヘンゼルとグレーテル」等多数のオペラに出演し研鑽を積む。兵庫県立芸術文化センター佐渡裕プロデュースオペラ「ヘンゼルとグレーテル」ヘンゼル役、レハール「メリー・ウィドウ」オルガ役。新国立劇場オペラ「ヴェルディ「アイダ」巫女役等、多数出演。第九、メサイア他各種演奏会にもソリストとして出演。現在、びわ湖ホール声楽アンサンブルソロ登録メンバー。北九州市在住。

北九州をうたう会をはじめ、北九州・下関・山口・福岡で一般合唱団や大学合唱団の指揮・指導にあたる。特に、合唱団と合奏団のコビによる宗教音楽演奏は多くの聴衆を獲得している。バロック、古典派はもちろんのことあらゆる時代の宗教曲に精通し、精神性の深い指揮は常に聴衆を魅了し、高い評価を得ている。また、現代音楽にも造詣が深く、常に妥協のないアカデミックなスタンスで取組み、その幅広い音楽活動ぶりには目を見張るものがある。元 梅光学院大学教授。平成25年北九州市民文化功労賞受賞。清原雅彦氏とは中学・高校の同窓。ともに合唱部に所属していた。



合唱指導
中山 敦



テノール
藤田 卓也

島根大学卒業、同大学院修了後、渡欧。ドヴォルザーク国際声楽コンクール2位(チェコ)等を受賞。2003年スロヴァキアのコシツェ国立歌劇場にて「椿姫」アルフレード役でオペラデビュー。2006年に帰国。2015年藤原歌劇団に入団以降これまでに「仮面舞踏会」リッカルド、「カルメン」ドン・ホセ、「ノルマ」ボッリオーネ、「蝶々夫人」ピンカートン、「ラ・ボエーム」ロドルフォ役、「トスカ」カヴァラドッシ役等に出演、また2023年入団の日本オペラ協会では「夕鶴」与比呂役で出演し好評を得る。2024/25シーズンでは「ピーア・デ・トロメイ」ギョー役で出演。大阪音楽大学特任准教授、くらしき作陽大学非常勤講師。

北九州交響楽団

1958年創立。九州の現市民オーケストラとしては最も古い歴史がある。年2回の定期演奏会は132回を数え、その他にはニューイヤーコンサート、サマーコンサート等の公演を積み重ねており、毎年意欲的なプログラムに挑戦している。2025年4月13日には大河内雅彦氏の指揮で第133回定期演奏会を北九州芸術劇場大ホールにて開催を予定している。

認定NPO法人 響ホール室内合奏団

北九州市の音楽専用ホール・響ホールの初代館長、故後藤忠雄の発案により、1998年に結成された。「0才からの音楽会」や「オペレッタ」など合奏団オリジナルによる、ダイジェスト版の演奏会を行うなど特徴ある活動も続けている。これまでに、2度の英国公演、韓国国際音楽祭に出演するなど、海外公演も多く行っている。2005年に特定非営利活動法人を設立。2016年認定NPO法人取得。



バス
原 尚志

北九州レクイエム混声合唱団

2015年の第1回公演より、毎回公募により編成。北九州市及びその近郊の合唱経験者がレクイエムの演奏のために集う。中山敦氏の指導のもと、4ヶ月前より練習を重ね、本公演に臨む。